



石川県の犯罪情勢と犯罪抑止対策

石川県警察本部生活安全部
首席参事官兼生活安全企画課長 谷口 栄三郎

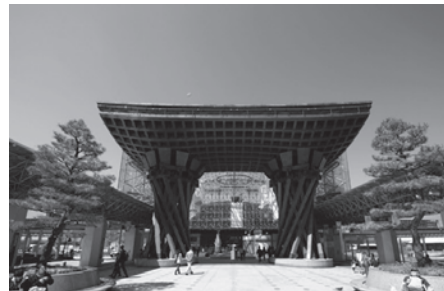


1 はじめに

石川県警察では、北陸新幹線開業から3年を経過する本年の運営の指針を『県民の期待と信頼に応える力強い警察』～安全で安心して暮らせる石川の実現～とし、重点目標に、
「交流人口の拡大等に伴う治安対策の推進」、「犯罪の起きにくい社会づくりの推進」等の内容を掲げ、県民の皆様のみならず、当県を訪れる観光客等の方々にも安全安心を実感していただけるように各種対策に取り組んでいます。



北陸新幹線(写真提供元:JR西日本)



金沢駅・鼓門(写真提供:金沢市)

2 石川県の特徴と犯罪情勢等

(1) 石川県の特徴

当県は、本州のほぼ中央部に位置し、地勢は南北に細長く、能登半島から加賀に至る海岸から日本三名山の一つ「白山」までの垂直的な広がりと変化に富んだ地形となっており、対馬暖流や冬場の季節風等の影響により、暖寒両系の動植物が生息しています。

このように豊かな自然がもたらす恩恵は、加能ガニ、甘えび、のどぐろ等といった海産物のほか、当県のオリジナル品種のルビーロマン(ぶどう)、加賀しずく(なし)、ひゃくまん穀(米)等の食の宝庫となっています。

また、江戸時代の代表的な大名庭園として、加賀藩の歴代藩主により長い年月をかけて造られた「兼六園」を始めとして、歴史漂う加賀百万石の城下町の街並みや、貴重な文化財が残されているほか、国指定伝統的工芸品や茶の湯、伝統芸能等、多様な文化が今に受け継がれています。



兼六園・雪吊り(写真提供:金沢市)



加能ガニ



のどぐろ



ルビーロマン



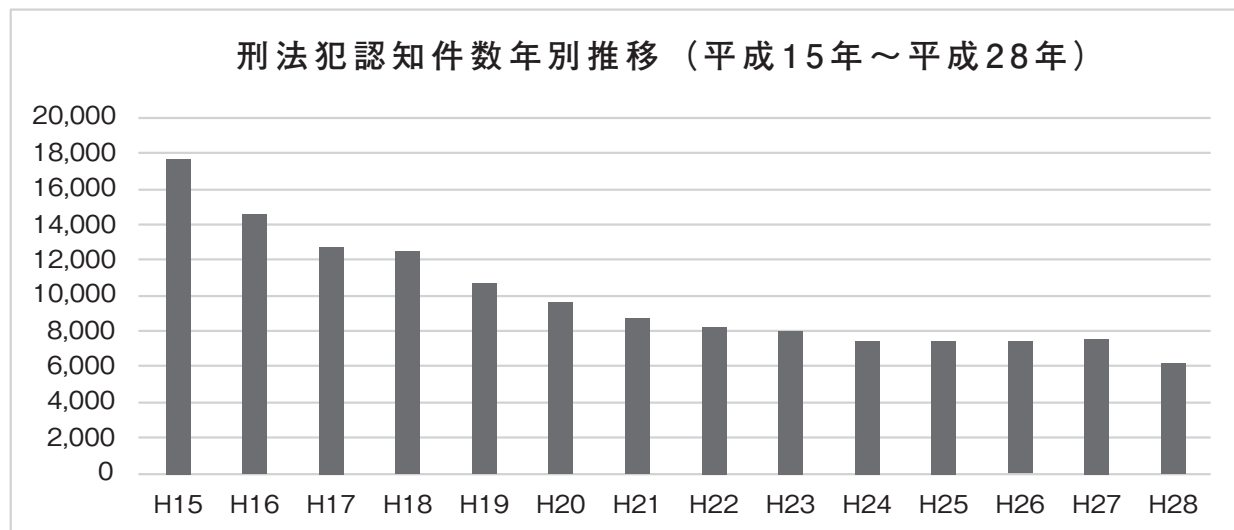
加賀しずく

(写真提供:石川県)

(2) 犯罪情勢等

当県の刑法犯認知件数は、平成15年に17,770件となり、戦後最多を記録しましたが、その後、県内各地域において、犯罪抑止対策、検挙活動等に努め、平成28年は6,202件とピーク時の約3分の1まで減少し、平成29年11月末現在で5,035件と減少傾向が続いています。

刑法犯認知件数の減少は、警察の力だけではなく、地域の防犯ボランティアの方々や石川県防犯設備促進協力会等の関係団体・機関等のご協力による地道な活動の成果であると感謝しております。



3 犯罪抑止対策

(1) 子供の安全対策

当県では、昨年、小学生誘拐未遂事件、女子高校生殺人事件が発生し、いずれも下校途中に被害に遭っていることから、通学路等を中心とした子供の安全対策に努めています。

ア 地域安全マップづくりの取組

地域安全マップは、子供達が防犯ボランティア等と校区内の通学路等を点検し、犯罪の起きやすい危険な場所や犯罪の起きにくい安全な場所を自ら調査して地図に表す作業を通じて、犯罪への抵抗力を身につける取組です。地域の防犯ボランティア等のほか、大学生のボランティアが参加し、子供達に対する指導と併せて調査中における安全を確保しながらマップづくりに励んでいます。

子供達がマップづくりを行うに当たって、犯罪の起きやすい「入りやすい」「見えにくい」という2つの基準をもとに、危険な場所を探索することで、「子供の持つ危険回避能力」を高めることが期待されます。

また、見通しの悪い場所の発見により、後日、学校、保護者、ボランティア等が協力して、樹木の伐採を行うなど、その後の安全対策に大いに役立っています。



地域安全マップ作成

イ 防犯ボランティア団体等との連携

県内には、(平成29年11月末現在)484の防犯ボランティア団体があり、32,299人の方々が子供の安全確保のため、通学路等において見守り活動を行っています。

また、青色防犯パトロールについては、142団体、476車両、1,342名にご協力をいただき、警察との合同パトロールや地域安全キャンペーンを実施しています。

(2) 鍵掛け対策

昨年上半期の住宅対象侵入窃盗(「空き巣」、「居空き」、「忍込み」)、乗り物盗(「自転車盗」、「自動車盗」、「オートバイ盗」)の件数について、当県警察が認知した被害の内、無施錠(施錠していない状態)で被害に遭った割合がいずれも全国平均を上回っていることから、警察と防犯ボランティアが合同で、直接一般住宅を訪問し、施錠状況を確認する防犯診断を実施するなどし、鍵掛けの重要性を呼び掛けています。

(3) 特殊詐欺対策

特殊詐欺については、金融機関に対する窓口における、高額払い出し時の声掛け及び警察への通報の依頼、金融期間の御協力を得たATM利用制限による被害防止対策のほか、電子マネー利用に係る被害が増加傾向にあることから、電子マネーの販売店であるコンビニエンスストア県内全店舗に対して、被害の有無等を判断するための「チェックシート」を配布し、接客時に活用していただき、店員の方による警察への速やかな通報を促しています。

また、業務委託した民間のオペレーターが、特殊詐欺被害防止について各個人宅や金融機関へ個別の注意喚起の電話連絡を行う「被害防止コールセンター」についても運用しています。

さらに、通話録音警告機の無料貸出しや、ラジオ放送や路線バス車内アナウンスによる注意喚起等により、広く被害防止を呼び掛けています。

4 石川県防犯設備促進協力会との連携

当県警察が連携して防犯対策に取り組んでいる「石川県防犯設備促進協力会」についてご紹介します。

(1) 設立

当県の刑法犯認知件数が上昇のピークに向かっていた平成14年10月、セキュリティ産業に関わる企業及び個人がそれぞれの事業所の枠を越えて協調し、警察と連携して安全安心なまちづくりのために活動することを目的として発足しました。

(2) 会員

(平成29年11月末現在)21個人・法人が加盟しています。

(3) 防犯活動アドバイザー

平成17年からは「防犯活動アドバイザー」として当県警察本部長から委嘱を受け、県内各地域において防犯設備の普及促進等に努めています。

(4) ウェブサイトの開設

平成25年3月に「石川県防犯設備促進協力会ウェブサイト」を開設し、広報しています。

(5) 会員店舗への看板設置

平成27年11月、「石川県防犯設備促進協力会加盟店」という看板を作成し、会員店舗に掲示し、協力会の認知度の向上、各種防犯設備の普及促進を図っております。

(6) 活動

ア「ロックの日キャンペーン」

毎年6月9日のロックの日に、石川県防犯設備促進協力会が石川県警察本部及び各警察署と合同で、駅や商業施設等で、キャンペーンを実施し、県民の皆様に対して、鍵掛けを呼びかけています。



ロックの日キャンペーン

イ「防犯設備に関する講習」

地域住民や企業、団体を対象に防犯設備に関する講習を実施しています。

昨年は10月4日に警察本部で行われた防犯功労者・功労団体表彰式及び防犯活動アドバイザー委嘱式において、県内各地域の防犯ボランティアの方々等に講習を実施し、今後の地域における防犯対策の推進に貢献しました。



防犯設備講習(カギ)



防犯設備講習(防犯カメラ)



防犯設備講習(ガラス)

6 おわりに

刑法犯認知件数が増加の一途を辿っていた当時のことを肝に銘じて、今後も、犯罪情勢に即した効果的な犯罪抑止対策を推進するとともに、関係機関・団体、防犯ボランティア等の方々と協働・連携し、安全安心のまちづくりに取り組んでまいります。



石川県警察マスコット いぬわし君



いぬわしちゃん